

令和5年度

放課後等デイサービス自己評価・集計結果

事業者向け

14部配布した結果、14部の回答あり（回収率100%）

（管理者・児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員・厨房職員・運転手）

西北五広域福祉事務組合
ステップアップセンターもりた

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など	事業所で決めた改善点・今後に向けて
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導 訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1 4			<ul style="list-style-type: none"> 現在の定員に対してスペースは十分確保されている。また、活動内容に合わせて、大きさの違う指導訓練室を使い分けている。 動の活動と静の活動を分けて行なえる。 静の課題は部屋で行い、動の課題は地域療育等支援センターで行うことができる。 個室に加え、集団で利用できる訓練室や隣接している西北五地域療育等支援センターが使える。 個室や訓練室等、行う活動に合わせた支援が出来るスペースを確保している。 適切である。 落ち着いて課題に取り組める指導訓練室が複数ある。 スペースは適切で、集団活動や個別課題などの活動に応じて使い分けている。 	複数の指導訓練室があり、個々に合わせた活動が出来る環境となっています。今後もグラウンドや畑を活用しながら、四季を感じられる活動を取り入れます。
	②	職員の配置数は適切であるか	1 4			<ul style="list-style-type: none"> 利用定員に対する職員数は十分確保され、直接処遇の職員は全員保育士又は児童指導員となっている。 適切である。 利用定員に対して、職員は十分に配置されている。 管理者、児童発達支援管理責任者の他に国の規定を上回る職員が配置されている。 職員の配置数は国の基準を満たしている。 ガイドラインの基準を満たしている。 国の基準を満たしている。 職員数は国の基準を満たしている。 	国が定める基準を満たす人員が配置されています。その中で今一度、支援中の立ち位置の確認や職員1人1人のスキルの上を目指します。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1 4			<ul style="list-style-type: none"> ほぼバリアフリーである。 事業所内は全てバリアフリーとなっている。 館内が全てバリアフリーになっている。また、用途に合わせた手すりがある。 事業所内はバリアフリーとなっている。 全館バリアフリーになっている。 全館バリアフリーとなっている。 事業所内は、バリアフリーとなっている。 	当事業所は全館バリアフリーとなっています。

業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・業務についてはミーティングで意見を出し、その都度改善を図っている。 ・ミーティングで情報共有している。 ・定期的にチーム会議を実施し、振り返りを行って業務改善できるようにしている。 ・参画してもらう為に会議を行い、スキルアップを図った上で、PDCAサイクルに繋げている。 ・ミーティングやチーム会議等を行っている。 ・日々のミーティングにて行っている。 ・チーム会議やミーティングを実施し、職員が参画している。 ・日々のミーティングやチーム会議で情報共有をしている。 	今後も業務改善を図る為、PDCAサイクルに沿ってミーティングや会議を実施します。その中で、職員全体が参画出来るような環境を整えていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け評価表は毎年実施し、集計結果を踏まえ全職員で改善策検討会議を行っている。 ・今年度も集計後、改善につなげたい。 ・保護者の方へ配布し、集計した評価表を基に改善策検討会議を実施し、業務改善に繋がるようにしている。 ・保護者向け評価表を活用しながら、保護者の意見を把握し、業務改善に繋げられるようにしている。 ・保護者向けの評価表を基に話し合いを行っている。 ・つなげている。 ・評価表を集計し、その結果を基に会議を実施しながら業務改善につなげている。 ・保護者アンケート調査を実施し、業務改善につなげている。 	保護者向け自己評価表を集計した後に、改善策検討会議を実施しながら、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のホームページで公開している。 ・公開している。 ・毎年、年度末に当組合のホームページで公開している。 ・年度中にホームページで公開する。 ・ホームページに公開している。 ・ホームページにて公開している。 ・毎年ホームページで公開している。 ・ホームページで公開している。 	自己評価の結果については、2月にホームページで公開します。

	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はさくらんぼ狩り交流会に招待した施設や学校の教職員を対象にアンケートを実施し、その結果を事業所の外部評価と捉えている。 ・行っていない。 ・近隣保育園等が交流事業で来訪した際、アンケートを配布し、その意見を基に業務改善へ繋げている。 ・専門的な外部評価は予算の都合もあり実施出来なかった為、交流事業（サクランボ狩り・栗拾い）に参加した方を第三者に捉えてアンケートを実施した。支援者の対応については良いとの評価を受けている。 ・今年度から第三者委員会を設置している。 ・現在は行っていない。 ・交流会に参加して頂いたこども園等の職員にアンケートを実施。その結果を基に業務改善につなげている。 ・実施していない。 	今年度は交流会に参加していただいた保育園や学校の教職員にアンケートを配布して評価をしていただきました。次年度以降も継続しながら、更に外部評価に繋がる内容を検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14			<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への参加や内部研修も実施している。 ・研修に参加している。 ・外部研修、内部研修を実施している。 ・内部研修や外部研修を確保している。 ・外部や内部研修に参加している。 ・確保され参加している。 ・内部研修、外部研修に参加している。 ・外部研修やオンライン研修に参加している。 	内部研修も含め、職員全員が研修に参加しています。今後も研修に参加しながら職員のスキルアップを目指します。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14			<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者のもとアセスメントを実施し、ニーズや特性等を客観的に分析しながら計画を作成している。 ・アセスメントを基本とし、保護者、本人のニーズを踏まえ計画している。 ・アセスメントシートを使用しアセスメントを取っている。また、保護者や利用児童の要望を聞きながら、個別支援計画を作成している。 ・子どもと保護者のニーズを把握した上で、子どもの成長段階に合わせた無理のない計画を作成している。 ・アセスメントを基に支援計画を作成している。 ・アセスメントを基に、計画の作成を行っている。 ・アセスメントを基に利用者や保護者のニーズを確認してから作成している。 ・子どもと保護者のニーズを基に計画を作成している。 	支援計画作成の際は、利用者や保護者のニーズを確認し、その内容を計画書に記載しています。今後も利用者に対するニーズの聞き取りは、障害特性を考慮しながら個々に合わせた形で進めています。

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で作成したアセスメントシート（学童用）を使用し、個別のアセスメントを行っている。 ・事業所独自のアセスメントシートを活用している。 ・事業所で統一されたアセスメントシートを使用している。 ・使用している。 ・事業所で作成しているアセスメントシートを使用している。 ・書類系を中心とした事業所独自のアセスメントツールを使用している。 ・事業所で作成したアセスメントを使用している。 ・アセスメントシートを使用している。 	今後も標準化されたアセスメントシートを利用し、利用者の適応行動の把握を行っていきます。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1 1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムは担当者が作成する事が多い。その中で、活動確認表を使用し、職員全体で支援内容を確認出来るようにしている。 ・個別支援に関しては各担当でプログラムを立てている。 ・チーム会議で話し合い実践したが、見直しを行えていない為今後必要であると感じている。 ・主担と副担が立案をし、職員全員がチームとして行っている。 ・主担、副担で行事の立案を行っている。 ・行事に関しては各係が充てられているが、個別のプログラムに関しては各支援者が行っている。 ・行事では主担、副担が立案し、それを基にチームで行っている。 ・行事に関して、主担と副担が立案し、係分担をして実施している。 	現在使用している利用者の活動確認表を今後は週毎に記載する形とします。また集団活動では、行う曜日や時間、内容を事前に決めて予定表に記入します。

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・個別課題や集団活動を組み合わせながら、固定化しないように心掛けている。 ・本人の要望に応えながら支援している。 ・個別支援、集団支援、余暇活動等、工夫しながら組み立てている。 ・固定化しないようにチーム会議にて客観的に捉えながら、活動プログラムを組み立てるようにしている。 ・本人の興味のある活動を取り入れつつ支援している。 ・本人の好きな活動を取り入れながら、苦手な活動等も含めている。 ・本人の好きな活動や苦手な活動も取り入れるよう工夫している。 ・支援計画に沿った活動を実施したり、色々な体験活動を行っている。 	これまでの支援内容を振り返り、今後も固定化しないように工夫しながら支援を提供します。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・特に休日や長期休暇は余暇時間に飽きない活動を提供するように心掛けている。 ・休日等は個別での支援時間を長く取り、関わりを密にしている。 ・落ち着いて課題に取り組める時間の確保、余暇活動等、設定しながら支援している。 ・時間調整や活動内容にメリハリをもたせながら、ストレスを分散させたり、集中出来る環境を設定するようにしている。 ・長期休暇の際は、個別時間を長く設けて支援している。 ・休日や長期休暇は課題の時間をいつもより長くする等している。 ・休日は支援時間を長くし制作を行っている。 ・個別課題の時間を多く取り支援している。 	今後も平日、休日、長期休暇に応じた課題や活動の提供に心掛けます。また、個々に合わせた余暇活動の充実にも目を向けながら支援をしていきます。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの状況に応じ、個別や集団で習得できる部分を考慮しながら計画を作成している。 ・特性を考慮しながら計画している。 ・保護者や利用児童の要望を聞き取りながら作成している。 ・子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた中での計画を作成している。 ・本人の特性を考慮しながら計画を作成している。 ・特性等を考慮しながら作成している。 ・子どもの状況や特性を考慮しながら計画を作成している。 ・本人の特性や状況を踏まえて計画を作成している。 	今後も個々に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら計画の作成を行います。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1 1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ミーティングを実施し、支援内容についてはタイムテーブルや活動確認表を活用している。 ・ミーティングは毎日実施しているが、参加出来ない日もある。 ・ミーティングで情報共有したり、それぞれの職員が担当児童の支援内容を掲示して確認している。 ・その日行われる支援内容を記入する事で確認ができる。また、職員のタイムテーブルを活用する事で、役割分担が分かる。 ・タイムテーブルを作成し、役割分担をしている。 ・必ず打ち合わせをすることはできていないが、できる時は確認している。 ・ミーティングや当日のタイムテーブルで確認している。 ・ミーティングで情報共有をしているが、朝送迎に出て確認不足になることがある。 	ミーティングやタイムテーブルを活用しながら、支援や役割分担についての打ち合わせを行っています。今後も有効に活用しながら、日々の支援内容等を確認していきます。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1 0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングを活用し、気付いた点等を職員間で共有している。 ・その日ではなく、翌日のミーティングや業務日誌で共有している。 ・情報共有する部分はミーティングで話している。その他、定期的に行っているチーム会議で支援の振り返りを行っている。 ・送迎業務があるため当日の振り返りは出来ないが、次の日のミーティングで話し合っている。 ・ミーティングで前日にあった出来事等の情報共有をしている。 ・その日ではないが必要な時には行っている。 ・業務日誌の記載や翌日のミーティングで情報共有を行っている。 ・翌日のミーティングで伝えている。 ・終了時間が遅くなった時には翌日に繰り越す。 	ミーティングやチーム会議等を通じて、支援の振り返りや情報共有を行っています。今後も有効に活用しながら、支援内容等について確認していきます。

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・業務日誌やサービス提供記録へ内容を記載し、支援内容の振り返りを行うようにしている。 ・改善に繋がれるよう心掛けている。 ・不適切行動についても記載し、改善に繋がるようにしている。 ・子どもの行動を正しく記録し、次の支援に繋がれるようにしている。 ・業務日誌に記載し、情報共有をしている。 ・業務日誌やサービス提供記録の方に記載し、つなげている。 ・少しの変化や気になった点も記入することで振り返りにもなり支援の検証、改善につなげている。 ・業務日誌に子どもの様子や支援内容を記録している。 ・記録や提出書類が遅れている者がいる。 	今後も正しい記録を徹底し、支援の検証や改善に繋がっていきます。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングは全職員で行い、計画や支援内容の見直しをしている。 ・全職員で会議を実施し、判断している。 ・半年に1度は見直し会議を実施し、支援目標の見直しを行っている。 ・支援不足になっていないのか振り返りをした中で、子どもの成長や特性に合わせた支援内容であるのか見直しの必要性を判断している。 ・定期的にモニタリング会議を行っている。 ・定期的に見直し会議を実施し、意見交換をして見直しを行っている。 ・全職員でモニタリングを行い、意見交換をすることにより計画の見直しを行っている。 ・定期的なモニタリングを9月と3月に行っている。 	見直し会議（モニタリング）には全職員が参画しています。今後も継続し、個々の計画の見直しを行います。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・基本活動を全て取り入れ、それぞれのプログラムを組み立てている。 ・活動に偏りがなく、個々に合った支援をしている。 ・個々に合わせて、活動を組み合わせる支援を行っている。 ・定期的にガイドラインを見ながら、複数組み合わせる支援になっているのか確認している。 ・個々に合わせた支援を行っている。 ・ガイドラインを確認して行っている。 ・ガイドラインを確認しながら個々に合わせた支援をしている。 ・個々に合わせて支援を行っている。 	今後もガイドラインを確認しながら、基本活動を組み合わせる形で活動を提供します。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席し、職員間で情報共有している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・状況に適した者が参画している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・児童発達支援管理責任者や担当職員が参画している。 	主に児童発達支援管理責任者が参画し、会議の内容は職員間で共有しています。今後も状況に合わせて情報共有に努めます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・下校時や電話連絡等しながら、学校との情報共有に努めている。 ・下校時、担任とその日の様子等について情報共有している。 ・下校時、担任の先生と情報共有をしている。連絡調整は通所支援係長を通して行っている。 ・学校との情報共有や連絡調整は時間を空けずに即対応で行っている。 ・下校時に担任と情報共有をしている。 ・下校時に学級担任とそれぞれの様子について伝え合ったり、毎月の利用予定表を渡している。 ・下校時に学校の先生と情報共有を行っている。 ・下校時に学校の担任と情報共有するようにしている。 	その日の様子については、下校時に学校の先生と連携をしています。今後もトラブル時の対応や支援内容の確認等は児童発達支援管理責任者を通じ、学校と情報交換をしながら支援に繋げていきます。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度該当する児童はいないが、対象児童が利用する場合は必ず行っている。 ・必要に応じて実施している。 ・今年度は該当児童がいなかった為、行っていない。該当児童がいた場合は、必ず行っている。 ・今年度は対象者がいなかったため実施していない。いるのであれば、必ず情報共有はしていた。 ・1年生の新規利用児童がいる際には情報共有をしている。 ・必要に応じて情報を共有する等している。 ・今年度は小学1年生の利用者はいなかったが、該当する児童が利用した場合は行うようにしている。 ・今年度、該当児童はいないが、必要に応じて情報共有をしている。

	⑳	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・主に相談支援事業所と情報を共有し、相談支援から福祉サービス事業所へ情報提供されるケースが多い。 ・相談支援を通して情報を共有している。 ・相談支援事業所を通して、情報共有を行っている。 ・要請に応じて提供できるが、同系列に相談支援事業所があるので、そこを通して情報提供することが多い。 ・相談支援事業所を通して情報共有をしている。 ・相談支援事業所もりたを通して行っている。 ・相談支援事業所を通して情報共有を行っている。 ・相談支援事業所もりたを通して情報提供をしている。 	今後も情報提供出来る体制を整えます。
	㉑	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1 2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・他の児童発達支援センターや専門機関の職員が講師となっている研修へ参加し、助言を受けている。 ・研修に参加した。 ・当事業所が児童発達支援センターであり、所長による研修会が行われている。また、他の発達障害者支援センターの方が講師の研修に参加し、復命書を回覧している。 ・研修に参加して、助言を受けている。 ・研修を受けている。 ・受けている。 ・研修ではないが、情報交換をしながらお互いに助言をし合っている。 ・外部研修に参加している。 ・連携はしているが、他のセンターからの助言や研修は受けていない。 	研修に参加した職員が復命書を作成し、職員間で情報共有をしながら支援に役立てられるように努めます。
	㉒	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・さくらんぼや栗の収穫を通じ、地域の小学校や保育施設等と交流している。 ・交流事業を実施している。 ・サクランボ狩り、栗拾いを通して、交流会を行っている。 ・交流事業（サクランボ狩り・栗拾い）を通して、機会を設けている。 ・サクランボ交流会や栗拾い交流会を通して交流している。 ・交流行事を行っている。 ・交流事業（さくらんぼ狩り、栗拾い）を行っている。 ・学校の児童と交流事業を行い、サクランボ狩りや栗拾いをしている。 	今後も新規の事業所等を招待しながら、交流会を実施します。また、交流の様子は広報誌以外にも保護者に対して広く伝えていく方法を検討しています。

②⑥	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・都合が合えば参加している。参加した際は情報を持ち帰り、職員間でも共有している。 ・主に所長が参画している。 ・当事業所の職員が参加し、復命書を回覧している。 ・代表者が参加している。終了後は必ず復命書を読んで内容を把握するようにしている。 ・主査児童指導員が参加している。 ・適した者が参加している。 ・職員が参加している。 ・所長が参加している。 	地域自立支援協議会には職員が参加し、地域の課題について職員間で共有し続けます。
②⑦	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との情報共有は大事にしながら、状況や課題について共通理解を図っている。 ・送迎時等を活用し、情報共有している。 ・連絡帳を通したり、直接話をしたりしながら、共通理解を図れるように心掛けている。 ・日頃から保護者に声を掛けるように心掛けている。その中で、子どもの発達状況や課題について話しながら共通理解を持つようにしている。 ・連絡帳や送迎時に情報を共有している。 ・問題が生じた時だけでなく、日頃の様子等も伝え、家庭での様子も聞いている。 ・連絡帳や送迎時に保護者と情報共有をしている。 ・保護者と連携を図り情報を共有している。 	保護者との共通理解については、今後も丁寧な対応を心掛けていきます。
②⑧	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングとまではいかないが、子育ての悩みなどがあれば、その都度対応している。 ・必要に応じて助言している。 ・相談があった際、対応の仕方等について助言している。 ・気になる姿や問題行動があった場合には、対処方法や楽しんで子育てが出来るような助言をしている。 ・相談があった際には、その都度助言している。 ・保護者からの相談があれば助言を行っている。 ・いつでも助言できる環境となっている。 ・ペアレントトレーニングは行っていないが、相談を受け付けている。 	ペアレント・プログラムに参加している職員がいるので、研修の開催を検討してみます。また、保護者の悩み等にはその都度対応していきます。

	②9	重要事項説明書、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの説明については丁寧な対応を心掛けている。 ・契約時に説明している。 ・利用契約時や問い合わせがあった際、丁寧にしている。 ・契約時に丁寧に説明している。また、保護者からの問い合わせがあった時には随時、書面を提示しながら丁寧に説明している。 ・契約時に説明している。 ・行なっている。 ・契約時に丁寧に説明している。 ・契約時に説明をしている。 	契約時に重要事項説明書、利用者負担等について丁寧な説明を行っています。今後も支援内容については、計画書の説明の際に分かりやすい言葉で伝えるよう心掛けていきます。
保護者への説明責任等	③0	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩みについては、定期的に事業所から確認をし、その都度対応している。また、事業所で行えるものがあれば、支援にも組み込んでいる。 ・その都度丁寧な対応を心掛けている。 ・定期的に子育てについての悩みを確認し、助言している。 ・保護者からの相談は、ゆっくり時間を確保した中で相談に応じている。対処方法や楽しんで子育てが出来るような助言を行っているが、同時に支援に組み込みながら悩みが軽減できるようにしている。 ・相談があった際には、上司に報告をして助言をしている。 ・その都度行っている。 ・迅速に対応できるように上司に報告、相談をし、丁寧な対応を心掛けている。 ・上司に報告した上で助言を行っている。 	子育てに対する悩み等は、その都度丁寧な対応を心掛けています。今後も、丁寧かつ迅速な対応を心掛けます。

③①	保護者会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は計4回の保護者会を実施。その中で、グループ討議を行いながら保護者同士が無理なく意見を言い出せる場を設定している。 ・今年度計4回保護者会を実施している。 ・今年度は4回、保護者会を実施し、保護者同士の連携が取れる機会を提供している。 ・今年度は研修会を含め合計4回の保護者会を開催した。保護者会の時に、それぞれの家庭の様子を伝え合うことで参考にしてもらったり、仲立ちに入る事で気になる行動へのアプローチの仕方を伝え合えるようにしている。また、参加できなかった保護者には報告書を渡して保護者会の内容を伝えている。 ・定期的に保護者会を開催し、日々の子育ての悩み等を話し合う場が設けられている。 ・支援している。 ・保護者会を開催し、家庭の様子や悩み等をグループ毎に伝え合う場を設けた。 ・保護者会や親子遠足、奉仕活動を通して関わる機会を設けている。 	今年度は保護者会を4回開催しました。今後も保護者会を開催し、保護者同士の連携や情報交換が来る機会を設けていきます。
③②	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情については窓口を設定し、子どもや保護者から苦情があった場合は直ぐに対応できる環境を整えている。 ・体制は整っている。 ・今のところ苦情は出ていないが、対応の体勢は整備されている。 ・苦情は出ていないので何とも言えないが、苦情が出ないように環境を整えている。もし、苦情が出た場合には迅速に対応したいと思っている。 ・対応できるような体制を整えている。 ・窓口は設定され、対応できる態勢は整っている。 ・児童発達支援管理責任者が受付窓口となり、対応出来る体制を整えている。 ・迅速に対応できるようにしている。 	事業所の玄関には意見箱を設置し、苦情受付窓口には児童発達支援管理責任者を配置しています。実際に苦情に繋がる事案はありませんが、今後も利用者や保護者には丁寧な対応を心掛けます。

③③	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・会報については年に1回発行し、行事予定については月の利用予定表の中でお知らせしている。 ・今年度分は今後発行予定である。 ・4月の保護者会で、年間の行事予定をお知らせしている。活動概要はその都度お知らせしている。 ・広報誌を発行する。 ・サクランボ交流会、栗拾い交流会等の様子を発行した。広報誌の発行も予定している。 ・森田学園、相談支援事業所もりたとの合同の広報誌を発行している。 ・当組合の広報誌を発行している。 ・年1回広報誌を発行している。 	当組合の広報誌を発行し、保護者や関係機関に配布しています。また、行事予定については月の利用予定表を通して保護者へ発信し、活動概要についてはその都度文書でお知らせしていきます。
③④	個人情報に十分注意しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについては細心の注意を払っている。 ・十分注意している。 ・個人情報を扱うものは、事業所内で行っている。 ・事業所を出たら、個人情報は一切口にしていない。不要な書類はシュレッダーにかけて破棄している。 ・十分気を付けている。 ・注意している。 ・十分に注意している。 ・個人情報は取り扱いに注意し、書類はシュレッダーで破棄している。 	今後も個人情報は十分に注意して管理します。
③⑤	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・利用する児童については、個々の性格や特性を考慮しながら関わる事を心掛け、保護者に対する情報伝達も丁寧さを心掛けている。 ・特性を考慮した上で、その都度対応している。 ・分かりやすい言葉、声掛け等、心掛けている。 ・子どもとの意思疎通や情報伝達の為に、写真やイラストを加えたものを提示している。保護者には実際に会った時や電話、連絡帳を介して伝達している。 ・言葉掛け等を気を付けるようにしている。 ・特性に合わせてイラストや写真等を用いて配慮している。 ・子どもの特性に配慮しながらイラストや写真等を取り入れている。 ・配慮をしている。 	今後も利用者に沿った形で意思の疎通や情報伝達に努めながら、保護者に対しても丁寧な対応を心掛けます。

③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1 2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症拡大防止の観点から、地域の人誰でも来られる行事の開催は控えている。ただ、規模を縮小しながらも保護者や関係機関を招いた行事は行っている。 ・交流事業を実施している。 ・近隣保育園等を招待し、交流事業を行ったり、近隣こども園の行事として、遠足の行き先として受け入れている。 ・感染予防の観点から行事は保護者を中心に家族のみに限定した為、地域住民まで招待する規模にまで至っていない。ただ、少しずつ行事の規模を大きくしている為、感染症が更に落ち着いた頃には招待できると思われる。 ・地域の保育園を招待してサクランゴ交流会や栗拾い交流会を開催し交流している。 ・交流会を行っている。 ・地域のこども園、小学校と交流会（さくらんぼ狩り、栗拾い）を行っている。 ・地域の保育園等を招待し、サクランゴ狩り、栗拾いを行っている。 ・コロナ禍により広く地域住民には実施されてない。家族や親族は招待している。 	今後も職員間で意見を出し合いながら、よりよい形で地域住民を招待出来るような行事や活動を検討していきます。
③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを策定し、定期的に見直しも行っている。感染症対応については、マニュアルの他に研修も実施している。 ・マニュアルを作成し、周知している。 ・職員へは常に確認できる場所に保管している。 ・周知しているし、いつでも見られる場所に置いている。保護者には保護者会で伝えている。 ・マニュアルが策定されていて、いつでも確認出来るようになっている。 ・職員間では周知しており、保護者には説明会で周知している。 ・いつでも確認出来るように保管している。保護者には保護者会で説明している。 ・マニュアルを作成し、職員間で周知し、保護者には契約時や保護者会で説明している。 	各マニュアルを再確認し、緊急時や防犯、感染症に対して適切な対応が出来るようにします。また、保護者に対しては保護者会等を通じて、マニュアルを説明する機会を確保します。

非常時等の対応	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・災害の発生に備えた防災教育の実施や、避難訓練（総合防災訓練）を実施している。また、職員は消火訓練も行っている。 ・行っている。 ・総合防災訓練、消火訓練、不審者対応訓練等を行っている。 ・総合防災訓練は年に2回実施している。その他、職員は毎月消火訓練や放送訓練を実施している。 ・毎月職員の消火訓練を行っている。また、利用児童は総合防災訓練を行っている。 ・年2回総合防災訓練を実施している。 ・職員による毎月の消火訓練や年2回の総合防災訓練を実施している。 ・毎月の消火訓練と年2回総合防災訓練を実施している。 	職員による消火訓練を毎月、災害を想定した総合防災訓練を年に2回実施しています。今後も安全に避難誘導を行うために障害特性の理解や個々の性格についても職員間で共有しながら、連携を取るようにはしています。
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の他に、組合全体で内部研修も実施している。 ・セルフチェックリストを活用している。 ・外部研修に参加した職員の復命書を回覧している。また、毎年職員会議で虐待防止に関して研修を行っている。 ・職員会議で虐待防止についての説明があった。また、障害者虐待防止職員セルフチェックリストを活用しながら虐待防止に繋げている。今後、外部研修があると思うので、代表者が参加する予定である。 ・チェックリストを記入し、虐待防止に活用している。 ・行えている。 ・虐待防止委員会を設置している。 ・セルフチェックリストを実施している。 	4月の職員会議にて虐待防止についての話を取り上げ、職員間で確認しました。12月には障害者虐待防止職員セルフチェックリストを活用して再確認をしています。
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	0	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は対象となる児童はいない。 ・対象児童なし。 ・今現在該当児童はいないが、いた場合は対応できる体制は整っている。 ・現在は身体拘束が必要な子どもがいない。もし、必要になった場合には、組織的に決定しながら保護者の了解を得て、計画に記載する。 ・現在対象児童はいない。 ・現在該当する利用者はいないが、いる場合は記載している。 ・現在該当する利用児童はいないが、今後該当する利用者がある場合は対応出来る体制をとっている。 ・現在、身体拘束が必要な利用者はいない。

④①	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房職員とも連携しながら食物アレルギーには慎重に対応している。 ・ 除去食を提供している。 ・ 厨房職員と連携を取り、対応している。 ・ 食物アレルギーの子どもが1名いる。病院で検査を受けた結果表を保護者から頂いているので、栄養士と連携を取り合いながら対応している。 ・ アレルギーのある子がいる場合は、栄養士や厨房職員と連携して対応している。 ・ 対応がなされている。 ・ 厨房職員と連携を図りながら対応している。 ・ 食物アレルギーの児童に対して除去食を提供している。 ・ 誤食を防ぐため「完全除去」とし、利用表の表記、名札の利用、職員間の口答での確認をしている。今年度は給食会議にて食物アレルギーについての基礎知識等を再度周知した。 ・ 原因食物を摂取しないように完全除去で対応している。 	食物アレルギーについては職員全体で把握し、栄養士や厨房職員と連携しながら進めています。今後も、アレルギーについては定期的に保護者と情報交換をし、適切な対応に努めます。
④②	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハットが発生した場合は正確に記録し、職員全体で共有している。 ・ 定期的に振り返りを実施している。 ・ 情報共有し、再発防止に努めている。 ・ 事業所内で共有しながら、再発防止に繋げている。 ・ ヒヤリハットを作成し、情報共有している。 ・ 作成して共有している。 ・ 報告書を作成し、会議等で振り返りながら再発防止に努めている。 ・ ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有している。 	今後も定期的にヒヤリハットを振り返り日々の支援や再発防止に繋がります。